

# 第48回情報理論とその応用シンポジウム (SITA2025) 予稿集 原稿様式

## How to Write a SITA2025 Manuscript

SITA2025 事務局\*  
SITA2025 Secretariat

**Abstract**— This document provides information on SITA2025 manuscripts.

**Keywords**— SITA2025, L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X, style file

### 1 はじめに

本稿には、SITA2025 予稿集の原稿の作成・提出に関する情報が記載されています。

### 2 予稿集用原稿の作成

投稿された PDF 原稿ファイルをそのまま収録した予稿集を作成し、ファイルにて配布します。また、原稿の著作権は電子情報通信学会に帰属します。SITA2025 ホームページ (<https://www.ieice.org/ess/sita/SITA2025/>) に掲載してある注意事項を厳守して、原稿を作成してください。

#### 2.1 様式

- 原稿サイズ A4 判 (縦 297mm, 横 210mm)
- 論文題目, 著者名, あらまし, 本文等全てを含み最大 6 頁
- 論文題目が英文の場合は, 前置詞と冠詞を除き, 単語ごとに一文字目は大文字
- 印刷時の上余白 25mm 以上, 下余白 20mm 以上, 左右余白 17mm 以上
- 2 段組, 10pt 程度の文字
- PDF 原稿ファイルサイズ 3MB 以下

SITA2025 原稿の L<sup>A</sup>T<sub>E</sub>X 用スタイルファイルおよび Word 用テンプレートが, SITA2025 ホームページ

<http://www.ieice.org/ess/sita/SITA2025/>

より入手できます。

#### 2.2 ヘッダ

原稿の第一頁において, 上余白 9mm(以上), 右余白 9mm(以上) あげ, 7pt 程度の文字で

The 48th Symposium on Information Theory  
and its Applications (SITA2025)

Koriyama, Fukushima, Japan, Nov. 25–28, 2025

と記入してください。第二頁以降にヘッダは不要です。スタイルファイルを使用している場合, このヘッダは自動的に挿入されます。

\* 〒 371-8510 群馬県前橋市荒牧町 4-2 群馬大学情報学部. Faculty of Informatics, Gunma University, 4-2 Aramaki-machi, Maebashi City, Gunma 371-8510, Japan. E-mail: [sita-2025-sec@mail.ieice.org](mailto:sita-2025-sec@mail.ieice.org)

### 2.3 第一頁に記載する事項

第一頁に次の事項を記載してください。

#### 1. 本文が和文のとき

- 論文題目 (和文と英文の両方)
- 著者名 (和文と英文の両方)
- 著者の所属, 所在地 (和文と英文の両方)
- あらまし (約 100 語の英文)
- キーワード (英文で 3–5 個)

なお, 和文のあらましとキーワードは必要ありません。

#### 2. 本文が英文のとき

- 論文題目 (英文)
- 著者名 (英文)
- 著者の所属, 所在地 (英文)
- あらまし (約 100 語の英文)
- キーワード (英文で 3–5 個)

### 2.4 カラー, 写真について

本予稿集は, ファイルで配布しますので, カラーと写真の使用も可能です。ただし, 白黒印刷をして利用することも考えられますので, 白黒印刷でも内容の把握が可能であるようご配慮ください。また, 投稿の際には, PDF 原稿ファイルサイズが 3MB 以下となっていることを再度ご確認ください。

### 3 論文投稿方法について

原稿は PDF ファイルでご用意ください。原稿は, 「一般講演発表申し込み」のページで受け付けます (SITA2025 ホームページ <https://www.ieice.org/ess/sita/SITA2025/> にリンクが張ってあります)。

論文投稿のシステムに関するお問い合わせは,

[sita-2025-pub@mail.ieice.org](mailto:sita-2025-pub@mail.ieice.org)

までお願い致します。

#### 3.1 注意事項

原稿が指定の様式を満たしていることを確認してください。また, PDF 原稿ファイルへ文字フォントを埋め込んでください。なるべく複数のシステムで PDF 原稿ファイルが閲覧・印刷できることを確認しておくことが確実です。

### 文献

- [1] SITA2025 Secretariat, “How to write a SITA2025 manuscript,” The 48th Symposium on Information Theory and its Applications, 2025.